



千葉県

松戸市



市章

市長 本郷谷 健次

「住んでよいまち
訪ねてよいまち まつど」

■松戸市の紹介

人口：483,760人（平成28年4月1日現在）

面積：61.33km²

松戸市は千葉県東葛地域（北西部）に位置しており、江戸川を挟み東京都葛飾区と埼玉県三郷市に隣接しています。

都心から約20km、電車で約30分の距離にあり、首都圏の住宅都市として発展を続けています。市内には最後の水戸藩主徳川昭武が晩年を過ごし、平成26年には国の重要文化財および名勝に指定されている戸定邸、本土寺をはじめとする寺院など、歴史ある建物が立ち並ぶほか、和梨の代表的品種である二十世紀梨の発祥の地でもあり、現在も市の東部および南部を中心に梨農園が広がっているなど、歴史、文化、農業が現在も共存しています。

また、小説「野菊の墓」の舞台となった街としても知られています。



■松戸市の取り組み

1 松戸市総合計画・健康松戸21Ⅲ

平成25年度で計画期間が終了した健康松戸21Ⅱを発展させる形で、平成26年度、健康松戸21Ⅲを策定しました。

本市は急速な高齢化の進行や生活習慣病の方が増加するなど、国と同様の傾向にあります。

そのため、健康日本21（第2次）及び健康ちば21（第2次）を踏まえつつ、本市の取り組むべき方向性を示す内容で策定しております。

■市民と一緒に取り組んでいます

1 パートナー講座

当講座は出前形式です。市の事業や業務を市民の皆さんにお話し、市政に関して理解と関心を深めてもらうために行ってています。市が用意した約80のメニューから選んでいただき、事前にお申し込みの上、市民の皆様のご希望の日、ご希望の場所へ市の職員が伺っています。



2時間という限られた時間での講座となりますが、無料で実施されているということもあり、市民の皆様からは好評を得ています。

健康・医療・福祉に関する講座は15あり、「生活習慣病の予防について」は、依頼数上位にランクインする人気講座です。

2 松戸市ご長寿ハッピーコンテスト



「自分の健康は自分でつくる」ことを目的として、平成15年度から毎年10月に開催し、今年度は第14回を迎えます。市民で構成される“ご長寿ハッピーコンテスト実行委員会”が中心となって、年度当初より準備を進めます。スーパー健脚コースでは江戸川の土手を10km、のんびりコースでは市内の名所・旧跡をめぐりながら3kmを歩きます。80歳を超える高齢の方も元気に参加しています。また、川柳部門にも多くの応募があり、当日に賞の発表があります。